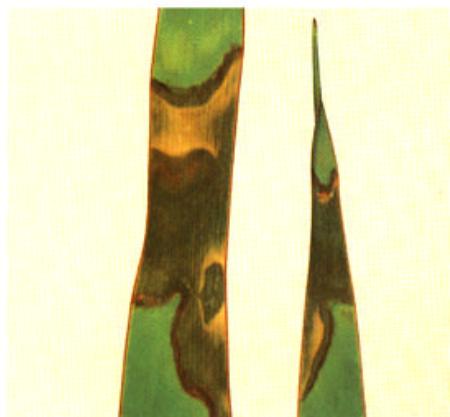


<ドラセナ疫病>



葉の水浸状症斑

<ドラセナ疫病>

病原菌：Phytophthora nicotianae van Breda de Haan var. parasitica(Daster) Waterhouse

1. 症 状

水浸状の病斑の葉の先端部から基部に向かって進展する。中間部に病斑を生ずると病斑部では葉折れを生ずる。また、茎まで進展すると株枯れを起こす。

2. 生 態

5月～12月に発生する。高温多湿状態下で発病しやすい。病原菌は遊走子を形成し、灌水や雨滴の跳ね上げによって飛散し、伝染する。

3. 防 除

1) 排水を良好に保つ。 2) 発病株を除去する。

4. 記 事

本症状は八丈島で1986年以降、発生している。